NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie Touch

目次

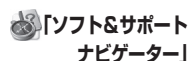
853-811064-131-A
2011年10月　初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
とくに重要	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
重要	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参考	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
DVD/CDドライブ	DVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、デスクトップの(ソフト＆サポートナビゲーター)アイコンをダブルクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆本文中のパソコンを操作する際の表記について

このマニュアルでは、Windowsを操作する場合にマウスを使う手順で説明しています。必要に応じてタッチ操作を使用してください。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
11nテクノロジー対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 7	Windows® 7 Home Premium Service Pack 1 (SP1)
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
ウイルスバスター	ウイルスバスター2011 クラウドTM
Internet Explorer、インターネット エクスプローラ	Windows® Internet Explorer®
Windows Update	Windows® Update
タスクバー	Windows® タスクバー

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分		
		ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
LaVie Touch	LT550/FS (PC-LT550FS)	11nテクノロジー対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	Windows 7 Home Premiumモデル	Office 2010モデル

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守･修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare℠ International Service］対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7）本機の内蔵ハードディスク（またはSSD）にインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9）ハードウェアの保守情報をセーブしています。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Office ロゴ、OneNote、Excel、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
Windows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、インテル® Atom™ プロセッサーはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
「BookLive!」は株式会社BookLiveの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC[*1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC[*1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)
Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

[*1]: NEC Personal Computers, Ltd.

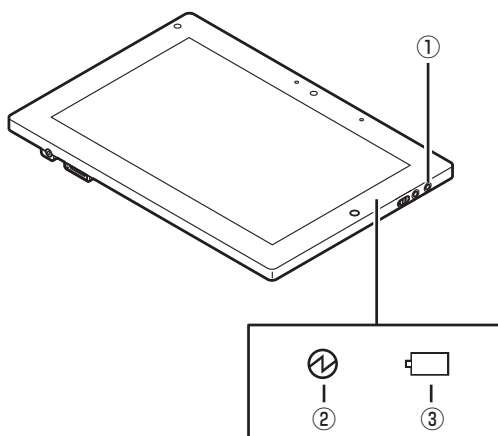
第1章

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認は、『添付品を確認してください』をご覧ください。接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

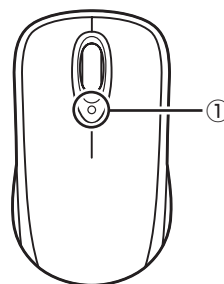
パソコン本体

①電源スイッチ
パソコンの本体の電源を入れるとき、省電力状態から復帰するときに押します。

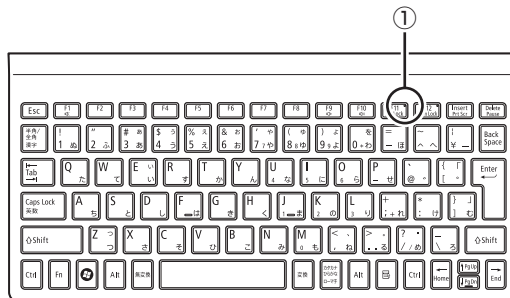
②電源ランプ
電源が入っているときは点灯します。スリープ状態のときは点滅します。また、バッテリ残量が少ないときにも点滅します。休止状態、または電源が切れているときは消灯しています。

③バッテリ充電ランプ
バッテリの充電中は点灯します。バッテリにエラーが発生したときは点滅します。ACアダプタが接続されていないときや、充電が完了しているときは消灯しています。

参照
パソコン各部の説明について
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

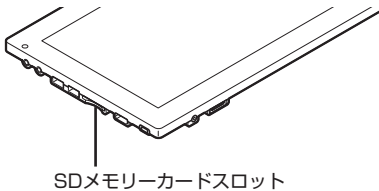
マウス、キーボード

●マウス

①マウスバッテリインジケータ
マウスの電池残量が少なくなると、マウスの操作を止めた直後に、赤色で点滅します。

●キーボード

①キーボードバッテリインジケータ
キーボード電源スイッチをONにしたときに、電池残量に応じて次のように点灯･点滅します。

- 電池残量が十分にある:緑色で点灯(約15秒間)
- 電池残量が少ない:赤色で点滅(約1分30秒間)

メモリーカード

このパソコンのメモリースロットは次の図で示す位置にあります。

使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

・ SDメモリーカード
・ SDHCメモリーカード

市販のアダプタが必要なメモリーカード

次のメモリーカードを使用する場合には必ず市販のアダプタにセットしてから使用してください。

・ miniSDカード、microSDカード

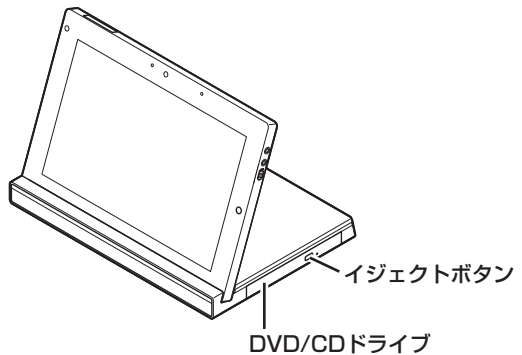
参照

メモリーカードやアダプタの形状、メモリースロットへの出し入れのしかた、注意事項について
→「SDメモリーカードスロット」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93015090 で検索

重要

市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。
必ずアダプタにセットしてから使用してください。

ディスク(DVD/CDなど)

このパソコンのDVD/CDドライブは、マルチステーションの次の図で示す位置にあります。

重要

・DVD/CDドライブを使用中(読み込み中/書き込み中)に、マルチステーションからパソコン本体を取り外さないでください。
・CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
・ディスクトレイは、マルチステーションにACアダプタが接続されているときのみ、出すことができます。
・DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

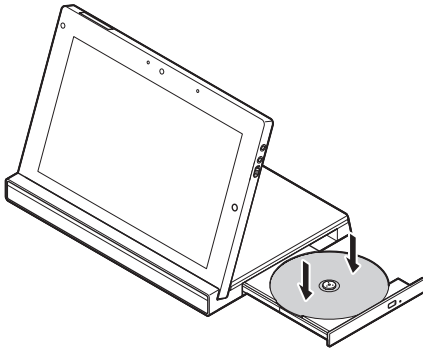
参照

使用できるディスクやデータ形式、注意事項について
→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93070010 で検索

手順1 イジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクを取り出す

手順1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクを取り出す

手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクが取り出せなくなったときは

次の方法でディスクを取り出す前に、第4章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」(p.53)をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

参考

マルチステーションにACアダプタが接続されていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

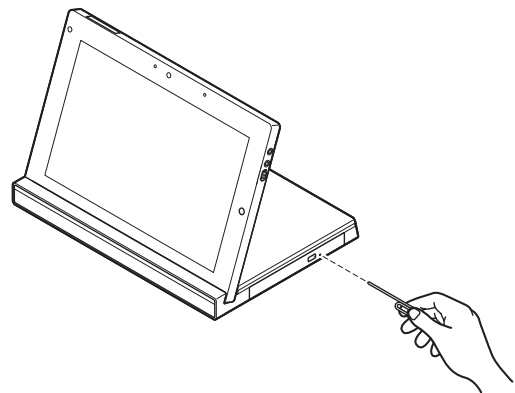
注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

手順1 パソコンの電源を切る

手順2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

手順3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で準備した針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの方法）

バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、パソコンに次のようなデータが蓄積されていきます。

- 重要な情報（知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など）
- 大切な思い出（デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など）
- 趣味や娯楽のためのデータ（音楽、動画、ゲームなど）
- インターネットを使うための情報（お気に入り、パスワードなど）

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」（バックアップする、バックアップを取る）と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

参考

壊れたり消えたりしたデータの復元を請け負う専門業者もあります。

一般的なバックアップの保存先（バックアップ先）は、次のとおりです。

- パソコンのSSD（Cドライブ）
- DVD-Rなどの光ディスク
- USB接続の外付けハードディスク
- USBメモリーやメモリーカード

重要

パソコンのSSD（Cドライブ）をバックアップ先に選ぶと、SSD自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまう恐れがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたSSD以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。

FlyFolderについて

「FlyFolder」は、複数のパソコンのデータを同期させるためのソフトです。このソフトの自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルをバックアップすることもできます。

指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。

参考

もっと手軽にバックアップを取りたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ（有料）」もご用意しております。詳しくは、『セットアップマニュアル』の「サービス＆サポートのご案内」-「データや個人情報を守るサービス（バックアップなど）」をご覧ください。

バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

- ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
- 古いパソコンからデータを移動してきたとき
- 前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度（データの増え方）によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

FlyFolderでバックアップする

FlyFolder使用上の注意

- パソコン(マルチステーション)に接続した外付けハードディスクにバックアップすることができます。必要に応じて市販の外付けハードディスクをご用意ください。
- ネットワーク上の別のパソコンへのバックアップも設定できます。また、BIGLOBEのサービス「オンラインストレージ for FlyFolder」(有償)を活用すれば、インターネット上にバックアップすることもできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。
- 「FlyFolder」を搭載した複数のパソコンで同じ保存設定をしておけば、各パソコンのデータを共有することもできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。
- メールのデータは「FlyFolder」を使ってバックアップすることはできません。
- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

バックアップするフォルダを指定する

「FlyFolder 設定ツール」を使って、バックアップ先のフォルダ、およびバックアップの対象となるフォルダとファイルの種類を設定する操作について説明します。ここでは、外付けハードディスクにバックアップする操作を例に説明しています。

あらかじめ、パソコン(マルチステーション)に接続した外付けハードディスクに、バックアップしたデータを保存するためのフォルダ(バックアップ先フォルダ)を、エクスプローラなどで作成しておいてください。
また、必要に応じて、そのフォルダにアクセス制限を設定しておいてください。

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 デスクトップの(ソフト＆サポートナビゲーター)アイコンをダブルクリック

手順2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「FlyFolder」の「ソフトを起動」をクリック

「FlyFolder 設定ツール」が起動します。
インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

手順3 「次へ」をクリック

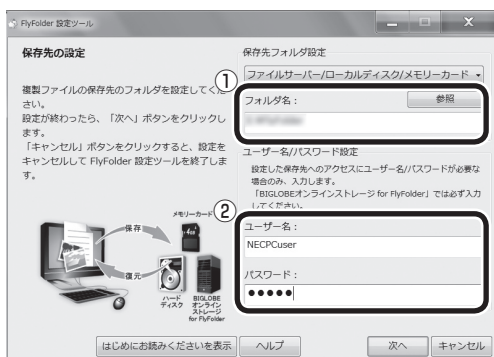
保存先のフォルダに関する設定画面が表示されます。

手順4 保存先のフォルダに関する設定をする

① 保存先フォルダを設定する
「フォルダ名」に保存先のフォルダ名をパスも含めて入力してください。
「参照」をクリックしてフォルダを選ぶこともできます。

② ユーザー名とパスワードを設定する
保存先のフォルダにアクセス制限が設定されているときは、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

重要

- **Windowsの起動ドライブにあるフォルダは、保存先フォルダとして設定できません。**
- **ユーザー名とパスワードは、保存先のフォルダに設定されたアクセス制限の内容に合わせて入力してください。**

手順5 「次へ」をクリックする

「保存対象項目」の一覧が表示されます。

> **重要**
>
> **保存設定の削除に関するメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認し「OK」をクリックしてください。**

手順6 保存したい「対象項目名」に☑が付いていることを確認して、「完了」をクリック

保存したい「対象項目名」が☐のときは、クリックして☑を付けてください。
バックアップが取れるのは、☑が付いているデータだけです。「新しい対象項目名の追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータを保存対象に登録できます。
再起動を促す画面が表示されます。

手順7 「今すぐ再起動」をクリック

Windowsが再起動します。
再起動後、設定した内容にしたがってバックアップがおこなわれ、その後、「設定した内容を反映します。」というメッセージが表示されます。

手順8 表示された内容を確認し、「はい」(または「いいえ」)をクリック

通常は「はい」を選んでください。初回復元で同じ名前のファイルを上書きしてもよいときは、「いいえ」を選んでください。
初回設定(保存先のファイルと保存対象のファイルの照合と復元)がおこなわれます。これで、「FlyFolder」の設定が完了しました。

> **参考**
>
> - **設定が完了すると、設定された内容にしたがって自動的にファイルの保存がおこなわれます。**
> - **必要に応じて、「FlyFolder」の保存や復元を手動でおこなうこともできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。**

バックアップしたデータを復元する

「FlyFolder」でバックアップされたデータは、以下の手順で復元できます。

手順1 画面右下の通知領域にある▲をクリックして表示される をクリックする

操作メニューが表示されます。

手順2 「ファイル復元」をクリック

ファイルの復元をおこなうか確認するための画面が表示されます。

手順3 「はい」をクリック

バックアップされていたデータの復元処理が開始され、終了すると「復元が完了しました。」というメッセージが表示されます。

> **参考**
>
> **必要に応じて、保存されたデータを自動で復元するように設定することもできます。詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。**

その他のバックアップ方法について

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

購入した音楽データのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

! 重要

- **購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。**
  購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。
- **外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。**

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

- Windowsの「バックアップと復元」を使う
  コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

第 2 章

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、この章をご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

手書きのノートやメモを作る

タッチ操作で手書きのメモを作ることができます。

「OneNote 2010」を使う

「OneNote 2010」は、いろいろなアイデアを手軽に記録してまとめることができるソフトウェアです。

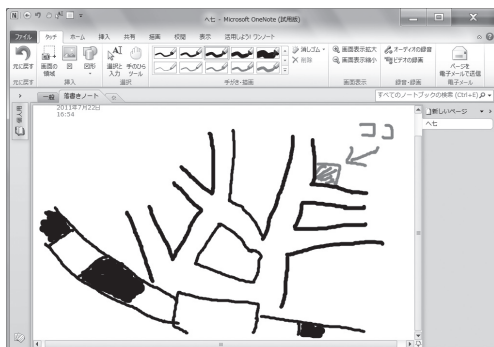
手順1 サイドバーの をタップ

ランチャーが表示されます。

手順2 「OneNote 2010」をタップ

「OneNote 2010」が起動します。

手順3 「タッチ」タブをタップ

タッチ操作に適したリボンが表示されます。

「手がき・描画」でペンの太さや色などを選び、指先で画面をなぞってメモをとることができます。操作の方法について詳しくは、OneNoteのヘルプをご覧ください。

参考

キーボードやマウスを使って操作することもできます。また、テキストをはじめ、音声や動画など、さまざまなデータを扱うこともできます。詳しくはOneNoteのヘルプをご覧ください。

複数のパソコンを使う

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作りほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。

ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。詳しい内容については、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

参考

→「複数台利用でできること」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91090010 で検索
→「Network Duet」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94140819 で検索

●データを同期・共有する

使用するソフト	機能の説明
「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
「Network Duet」	ネットワークに接続されている2台のパソコン間で、ハードディスク(SSD)の一部を共有することができます。

電子書籍を楽しむ

電子書籍をダウンロードして楽しむことができます。紙の本をめくるように、タッチ操作で電子書籍を読んでみましょう。

「BookLive!Reader」を使う

小説やビジネス書、コミックなどの電子書籍を購入し、楽しむことができます。

手順1 サイドバーの をタップ

ランチャーが表示されます。

手順2 「BookLive!Reader」をタップ

参考

「BookLive!Reader」で電子書籍を楽しむためには、BookLive!の会員登録とアカウント情報の設定が必要です。はじめて「BookLive!Reader」を使うときは、画面の指示にしたがって会員登録と必要な設定をおこなってください。

「BookLive!Reader」が起動します。操作方法については、「BookLive!Reader」のヘルプをご覧ください。

参考

ebookJapanから電子書籍を購入して楽しむこともできます。ランチャーの「ebookJapan」をタップして、画面の指示にしたがって操作してください。

外出先で使う

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

ワイヤレスLANサービスが提供されない場所でも、モバイルルータや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスすることもできます。

重要

ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。

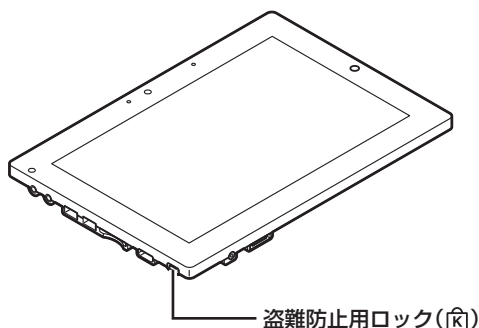
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について
　→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 91040020 で検索
・セキュリティについて
　→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 91030010 で検索
・「BIOS」について
　→「ハードウェア環境の設定」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 93220040 で検索

●セキュリティを万全にする
ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

●パスワードをかける
BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」や「内蔵ハードディスク(SSD)にパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

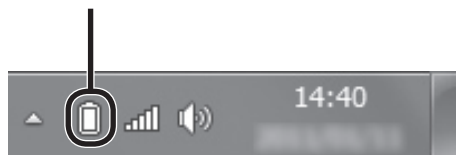
●盗難防止グッズを使う
パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

盗難防止用ロック(K)

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする
充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

参照
正しい充電のしかたについて
→「バッテリ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150010 で検索

●残量が少なくなったら
ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

・電源ランプがオレンジ色に点灯したら
バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

・電源ランプがオレンジ色に点滅したら
バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

重要
パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

●長時間の外出や出張には
外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

●ECOモードに切り換える
このパソコンでは、Windowsのシステムと電力に関する設定は「電源プラン」で管理しています。状況に応じて、電力を節約したり、電力とパフォーマンスのバランスをとったりすることができます。

電源プランの設定	説明
LaVie	パフォーマンスと電力のバランスをとった設定です。ご購入時の状態では、このプランに設定されています。
ECO	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定です。

電源プランは、サイドバーの をタップして表示される「ExTOUCH」の「ホーム」タブの「Windows モビリティ センター」-「バッテリの状態」で変更できます。

参照

電源プランの設定を変更し、より柔軟な省電力設定をすることもできます。
省電力設定について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

設定をカスタマイズする

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

手順1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする**

「パソらく設定」が起動します。

手順2 **「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする**

手順3 **好みのサイズを選んでクリックする**

選択されたサイズのボタン上に「○」が表示されます。

手順4 **「終了」をクリックする**

手順5 **「保存して終了」をクリックする**

手順6 **「今すぐログオフ」をクリックする**

参照

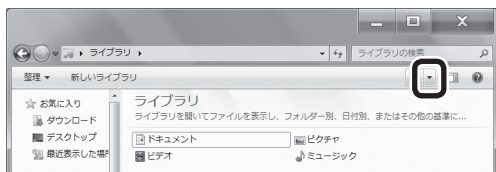
「パソらく設定」について
→「パソらく設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94161819 で検索

参考

「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。

手動で表示方法を変更する

必要に応じて、ウィンドウに表示されるアイコンの表示方法を変更できます。

手順1 **ウィンドウ右上の▾をクリック**

表示方法のメニューが表示されます。

手順2 **変更したい表示方法を選んでクリック**

表示方法が変更されます。アイコンが小さくてタッチ操作しにくいときは、「中アイコン」や「大アイコン」などを選んでみましょう。

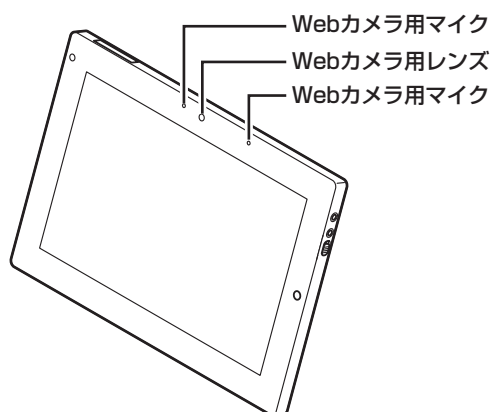
●「中アイコン」を選択したとき

●「大アイコン」を選択したとき

Webカメラを使う

Webカメラは、ディスプレイ上部中央に搭載されており、レンズおよびマイクで構成されています。レンズで対象を撮影し、マイクで音声を収集します。

Webカメラを使用して、次のことができます。

・「Windows Live Messenger」を使用してテレビ電話(ビデオチャット)をする
・「CyberLink YouCam 4 BE」を使用して写真やビデオを撮影したり、撮影した写真やビデオを電子メールで送る

テレビ電話(ビデオチャット)をする

●テレビ電話の準備をする

・テレビ電話を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。あらかじめインターネットの設定を完了させておいてください。なお、送受信するデータが大きくなるため、FTTHやADSLなどのブロードバンド接続をおすすめします。
・テレビ電話は、相手側にもWebカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要になります。

「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live Messenger」をクリック

手順2 サインイン画面の「新規登録」をクリックして、IDを登録する

! 重要
IDの登録は無料です。

手順3 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

次回からは、取得したメールアドレスとパスワードを入力すると、すぐに始めることができます。

参考
メールアドレスとパスワードについて詳しくは、「Windows Live Messenger」のヘルプをご覧ください。

テレビ電話を開始する場合は、次の「●テレビ電話を始める」の手順3に進んでください。

●テレビ電話を始める

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live Messenger」をクリック

手順2 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

手順3 【Alt】キーを押し、表示されたメニューから「操作」-「映像通信」-「映像通信の開始」をクリック

通話可能なメンバーが表示されます。

手順4 通話するメンバーを選択し、「OK」をクリック

参考
- 通話相手がWindows Live Messengerを使っている場合は、その人のWindows Live IDを登録することでメンバーに追加できます。そうでない人も、招待メールで参加を呼びかけることができます。
- パソコンをスリープ状態や休止状態にするときは、その前に「Windows Live Messenger」を終了してください。

これ以降の操作は、画面に表示される説明を読みながら操作を進めてください。
また、詳しい操作方法については、「Windows Live Messenger」のヘルプをご覧ください。

●音声が聞き取りにくいときは
「Windows Live Messenger」でテレビ電話を使用しているとき、ノイズやエコーが入ったり音声が聞き取りにくい場合は、次の方法でクリアな音質での通話ができるようになります。

・音量調節をおこなう
音量が大きすぎるとノイズやエコーなどが発生しやすくなります。通話が可能な範囲で音量を少しずつ下げてください。

! 重要
【Fn】を押しながら【F9】を押すと音が小さくなり、【Fn】を押しながら【F10】を押すと音が大きくなります。

・ヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを使用する
ヘッドセットを使用する場合は、次の手順でマイクの設定を変更してください。

手順1 あらかじめヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを取り付けてから、「Windows Live Messenger」を起動する

手順2 **【Alt】キーを押し、表示されたメニューから「ツール」-「オーディオとビデオ デバイスのセットアップ」をクリック**

「オーディオとビデオの設定 - スピーカー/マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

手順3 **「スピーカー/マイクまたはスピーカーフォン」のプルダウンメニューで「ユーザー設定」を選択する**

手順4 **使用するスピーカーとマイクをそれぞれ選択し、音量のテストをおこなって適切な値に調整する**

手順5 **「完了」をクリックする**

これで、設定は完了です。

! 重要

「Windows Live Messenger」を終了するまでヘッドセットを取り外さないでください。終了前にヘッドセットを取り外した場合は、「Windows Live Messenger」を再起動してください。

写真やビデオを撮影する

●「YouCam 4 BE」を使用する

「YouCam 4 BE」を使用すると、写真やビデオを撮影したり、撮影した写真やビデオを電子メールで送ったりできます。

詳しい操作方法は、「YouCam 4 BE」のヘルプをご覧ください。

! 重要

「YouCam 4 BE」を使用していると、Webカメラの映像のフレームレート(コマ数)が低下する場合があります。

第3章

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、気付かないうちにパソコンのシステムが壊れていたり、意識しないまま設定を変更してしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

参考

再セットアップを、NECで代行するサービス(有料)もあります。ご自宅からパソコンを引き取り後、再セットアップを実施してご自宅へ配送します。詳しくは、(http://121ware.com/re-set/)をご覧ください。

操作の前に

再セットアップの前のチェックや再セットアップの操作をする前に、次の準備をしてください。

必要な周辺機器を取り付ける

パソコン本体に、マルチステーションとACアダプタを取り付け、キーボードとマウスを接続してください。

BIOS(バイオス)の設定を変更する

次の操作をおこなうときは、BIOS(バイオス)の設定を変更する必要があります。

・再セットアップする
・再セットアップディスクを使って再セットアップする(一部、BIOSの設定が異なります)
・セーフモードで起動する
・「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する
・「スタートアップ修復」を使う

手順1 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら何度か【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。

手順2 【←】【→】で「Advanced」メニューを表示する

手順3 【↓】【↑】で「Legacy USB Support」を選んで【Enter】を押す

手順4 表示された画面で「Enabled」を選んで【Enter】を押す

BIOSの設定変更後におこなう操作によって、次の手順が異なります。
「再セットアップディスクを使って再セットアップする」操作をおこなうときは手順5に進んでください。
それ以外のときは手順8に進んでください。

手順5 【←】【→】で「Boot」メニューを表示する

手順6 【↓】【↑】で「Boot Device Priority」の「1st Boot」を選んで【Enter】を押す

手順7 表示された画面で「USB CD/DVD ROM:～」を選んで【Enter】を押す

手順8 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

手順9 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

再セットアップの前に試すことについて

再セットアップを始める前に、次のチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

- ウイルスチェックをおこなう
- セーフモードでパソコンを起動してみる
- データのバックアップを取る
- システムの復元を試みる

ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2011 クラウド」-「ウイルスバスター2011 クラウドを起動」をクリック

「ウイルスバスター」の画面が表示されます。
「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)の「ソフトを起動」からも起動できます。

手順2 「検索開始」の右の▼をクリックし、表示されたメニューから「コンピュータ全体の総合検索」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

重要

- ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している必要があります。また、ユーザー登録した日から90日間、無料で試用することができます。詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)をご覧ください。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

手順3 「閉じる」をクリック

セーフモードでパソコンを起動してみる

セーフモードとはトラブル修復用の起動状態のことです。
電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

重要

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- 操作の前に、必要な周辺機器を取り付け、BIOS(バイオス)の設定を変更してください。詳しくは「操作の前に」(p.24)をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順 2 **パソコン本体の電源を入れる**

手順 3 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

手順 4 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す**

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、自分のユーザーアカウントを選んでください。
パソコンが通常のように起動してしまったときは、手順1からやりなおしてください。
この後、パソコンを再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。
セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、データのバックアップを取ってください。

参照

バックアップについて→第1章の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)」(p.11)

また、必要に応じて、次の操作をおこなってください。

●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要

- **システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。**
- **システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。**
- **Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.25)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動してください。その後、次の手順で操作してください。**
- **Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.27)の手順6で、「システムの復元」をクリックしてください。**
- **システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。**

手順 1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

手順2 「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順3 「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック

手順4 確認の画面が表示されたら「はい」をクリック

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。
しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

手順5 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック

これで、システムの復元は完了です。

「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

> **! 重要**
> 操作の前に、必要な周辺機器を取り付け、BIOS(バイオス)の設定を変更してください。詳しくは「操作の前に」(p.24)をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。
これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

> **! 重要**
> 操作の前に、必要な周辺機器を取り付け、BIOS(バイオス)の設定を変更してください。詳しくは「操作の前に」(p.24)をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順 3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

手順 4 「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック

手順 5 自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

手順 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック

「スタートアップ修復」が始まります。

手順 7 修復が終わったら「完了」をクリック

手順 8 「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する

重要

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

SSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。SSDの領域の変更はしません。

重要

- **SSDの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。**
- **この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります(p.26)。**
- **再セットアップは中断しないでください。**

●こんなことができます

- Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます

●こんなかたにおすすめ

- 再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
- まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
6. パソコン本体にマルチステーション、ACアダプタを取り付け、キーボードとマウスを接続する
7. BIOS(バイオス)の設定を変更する

8. システムを再セットアップする(約30分～1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
9. Windowsの設定をする(約30分～1時間)
10. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11. 市販のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

バックアップは終わっていますか?

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、第1章の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)」(p.11)、この章の「データのバックアップを取る」(p.26)をご覧ください。

再セットアップを始めたら、途中でやめない!

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1.必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

・「Microsoft Office 2010」のプロダクトキー
  ※:ここでは、「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。
  ※:プロダクトキーは「Microsoft Office 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。
・『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)
・『セットアップマニュアル』

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。また、SSDを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

! 重要

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、再セットアップ時には、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、「Microsoft Office 2010」のインストールが必要になります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

2.バックアップを取ったデータを確認する

バックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。

3.インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバー
・ニュースサーバー

! 重要

必要に応じて、LANの設定を控えてください。

4.ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。『セットアップマニュアル』の「パソコンをセットアップする」をご覧ください。「9.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

ユーザー	ユーザー名
1	
2	
3	
4	

重要

- 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
- ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。

5.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、『セットアップマニュアル』で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。
また、ワイヤレススイッチをオンの状態にしてください。
DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

重要

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

6.パソコン本体にマルチステーション、ACアダプタを取り付け、キーボードとマウスを接続する

『セットアップマニュアル』をご覧になり、マルチステーションとACアダプタを取り付けてください。また、キーボードとマウスを接続して、使える状態にしてください。

7.BIOS(バイオス)の設定を変更する

再セットアップの操作をおこなうときは、BIOS(バイオス)の設定を変更する必要があります。
なお、再セットアップディスクを使って再セットアップするときは、一部、BIOSの設定が異なります。

手順1 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら何度か【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。

手順2 【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

手順3 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

手順4 【←】【→】で「Advanced」メニューを表示する

手順5 【↓】【↑】で「Legacy USB Support」を選んで【Enter】を押す

手順6 表示された画面で「Enabled」を選んで【Enter】を押す

以降の操作は再セットアップの種類によって異なります。
再セットアップディスクを使うとき:手順7に進んでください。
再セットアップディスクを使わないとき:手順10に進んでください。

手順7 【←】【→】で「Boot」メニューを表示する

手順8 【↓】【↑】で「Boot Device Priority」の「1st Boot」を選んで【Enter】を押す

手順9 表示された画面で「USB CD/DVD ROM:~」を選んで【Enter】を押す

手順10 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

手順11 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

これでBIOSの設定が変更されました。次の「8.システムを再セットアップする」へ進んでください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

8. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

重要

- 再セットアップは、ワイヤレススイッチがオンの状態でおこなってください。
- 再セットアップは、必ずパソコン本体とACアダプタをマルチステーションに取り付け、キーボードとマウスを接続しておこなってください。
- 再セットアップではタッチ操作を使用できません。

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順2 パソコン本体の電源を入れる

手順3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

手順4 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、手順1からやりなおしてください。

手順5 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

手順6 確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック

重要

「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順5からやりなおしてください。

再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面の×をクリックして画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

重要

DVD/CDドライブやメモリースロットなどにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、メモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。

手順7 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

重要

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「8.システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「9.Windowsの設定をする」へ進んでください。

9.Windowsの設定をする

このパソコンを買ったときと同じ、セットアップをもう一度おこないます。
セットアップの手順については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

セットアップが終わっても、周辺機器の接続やバックアップしたデータの復元などの作業が必要です。セットアップが終わったら、このページに戻って、再セットアップを続けてください。

「Microsoft Office 2010※」について

●はじめてOffice 2010を使用するとき
『セットアップマニュアル』の「ご使用時の注意」をご覧ください。

●ご購入された再セットアップディスクで再セットアップしたとき
PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、インストールする必要があります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

※：ここでは、「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

10.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

市販のプリンタ、スキャナなどを取り付けて設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

手順1 パソコンの電源を切る

手順2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

11.市販のソフトをインストールしなおす

手順1 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

12.バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.26)でバックアップを取っておいたデータを復元してください。

13.インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定などの初期設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。
『セットアップマニュアル』の「インターネットに接続する」を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。

14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.28)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低30Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの領域サイズは、最大でもSSD全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズになります。
SSDに保存されていたデータはすべて失われます。

重要

- **この方法で再セットアップをおこなうと、SSDのデータがすべて失われます。操作を始める前に、外部のディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。**

重要

- **SSDの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。**
- **再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。**

再セットアップを実行する

手順1 「再セットアップする(Cドライブのみ)」の「1.必要なものを準備する」(p.29)から「8.システムを再セットアップする」の手順1～4までの操作をおこなう

手順2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

手順3 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「9.Windowsの設定をする」(p.32)以降の説明を参考にしてください。

再セットアップディスクを作成する

再セットアップディスクとは

再セットアップとは、パソコンが起動しなくなった際など、最後の手段としてSSDの内容をご購入時の状態に戻す作業です。通常は、SSD内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **SSDの再セットアップ用データを削除した場合**
- **SSDのデータを消去する場合**

再セットアップについて詳しくは、「再セットアップを始める前に」(p.24)を、再セットアップディスクを使ってできる再セットアップについては「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.37)をご覧ください。

重要

通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.28)をご覧になり、SSDから再セットアップをおこなってください。

再セットアップディスク作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2～3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

重要

再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順3(p.36)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- **スクリーンセーバーが起動しないようにする**
  次の手順で設定を変更します。
  ①「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
  ②「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
  ③「スクリーンセーバーの変更」をクリック
  ④「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  ⑤「コントロールパネル」の×をクリック
- **起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)**
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

! 重要

ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

再セットアップディスクの作成

作成の手順

! とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 パソコン本体にマルチステーション、ACアダプタを取り付け、キーボードとマウスを接続する

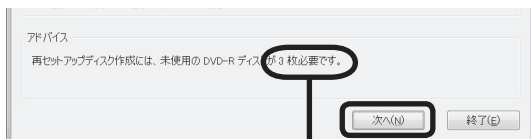
手順2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

! 重要

「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。

- **再セットアップディスクを使用して「Cドライブの領域を変更して再セットアップ」をおこなった場合**
- **手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合**

手順3 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

手順4 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

重要

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

手順5 用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

手順6 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

手順7 「OK」をクリック

手順8 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

重要

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはSSD内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップディスクとは」(p.34)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。
このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップディスクがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。
また、再セットアップディスクを使って、SSDのデータを消去することもできます。

参照
再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.34)

●Cドライブのみ再セットアップ
Cドライブの領域のみ再セットアップをおこないます。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.28)で説明している内容と同じです。

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ
Cドライブの領域サイズを変更できます(最低30Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、SSD全体のサイズになります。SSDに保存されていたデータはすべて失われます。

●ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ
Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をSSDにコピーして、SSDから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間〜3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、SSDの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

重要
- この方法で再セットアップすると、それまでのSSDの内容はすべて失われます。
- 再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。

●データを消去する
このパソコンのSSDのデータ消去をおこないます。SSDに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のフォーマット機能では消去できないSSD上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、SSDのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  SSD全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、SSDのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にSSDに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- **しっかりモードプラス(3回消去+検証)**
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、SSDのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にSSDに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

重要

- この方法でのSSDのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- パソコンの電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。
- データ消去方式を選択する画面に、お使いのSSDの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。
- SSDのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、第4章の「BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない」(p.47)をご覧ください。また、SSDを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

重要

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 再セットアップは、必ずパソコン本体とACアダプタをマルチステーションに取り付け、キーボードとマウスを接続しておこなってください。
- 再セットアップではタッチ操作を使用できません。

手順1 作成した再セットアップディスクを用意する

手順2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.28)を読み、「1.必要なものを準備する」から「7.BIOS(バイオス)の設定を変更する」までの作業をおこなう

手順3 パソコン本体の電源を入れる

手順4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

手順5 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。

重要

パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

手順6 目的の再セットアップのボタンをクリック

手順7 以降は、画面の指示にしたがって操作する

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れたり、ディスクを取り出したりしないでください。
ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。
「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

重要

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

手順8 「9.Windowsの設定をする」(p.32)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする

「14.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

第4章

トラブル解決Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、この章で説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」の「困ったら見る」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグやACアダプタをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この章「トラブル解決 Q&A」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す
ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる
通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

重要
この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す

2 「タスクマネージャーの起動」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

●Windowsをいったん終了する
次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 「スタート」をクリック

2 「シャットダウン」をクリック
パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

重要
- ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。
- この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。
- CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。
- SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。
- アクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。

参照
アクセスランプについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける(通常、4秒以上)
この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す
電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリック

4 「シャットダウン」をクリック
パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。
それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

パソコンの様子がおかしいとき

Q 煙や異臭・異音がする

煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱いとき、パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じたとき

A すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

Q ピーッというエラー音がした

SSDの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

Q パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

タッチパネル、マウス、キーボードがおかしいとき

重要

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

Q タッチパネル、マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

マウスポインタがの形に変わっていませんか？

A マウスポインタがの形になっているときは、パソコンが処理をしているので、タッチパネル、マウス、キーボードの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、タッチパネル、マウス、キーボードの操作ができないとき

A ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「パソコンを使っていて反応しなくなった･フリーズしたとき」(p.41)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

指先やタッチパネルが汚れていませんか？

A 指先やタッチパネルに水分や油分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

光学式マウスが正しく動作しない

A 光学式マウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のようなものの上では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。

- 反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)
- 光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない無地の印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

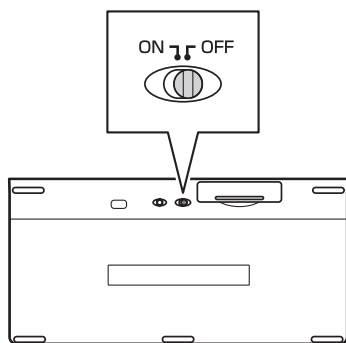
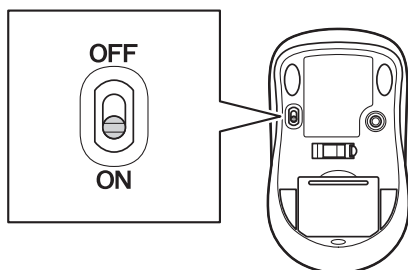
マウスポインタの設定を変えていませんか？

A ソフトによっては、マウスポインタの設定によりポインタが表示されなくなることがあります。

参照

→「マウス」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93025010 で検索

キーボード電源またはマウスのスイッチがOFFになっていませんか？

A キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチがOFFになっていると動作しません。OFFになっているときはONにしてください。

ワイヤレスキーボード

ワイヤレスマウス

パソコン本体から離れた所で操作していませんか？

A 周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウス、キーボードをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。

キーボード電源またはマウスのスイッチを入れなおしてください

A キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチを切り、10秒後に再度スイッチを入れてみると操作できることがあります。

キーボード、マウスの電池が切れていませんか？

A 『セットアップマニュアル』をご覧になり、電池を新しいものに交換してください。

上記の対処方法をすべて試しても正しく動作しないときは、キーボードやマウスの故障かキーボード・マウス受信用ユニットの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。修理、交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、パソコン本体のすべてを点検いたします。

電波の影響が出やすい状態(ワイヤレスマウス・キーボード)

次のような状態は、電波の影響を受けやすいので避けてください。

- パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- パソコン本体の前に周辺機器を設置してある場合
- このパソコンを複数、隣接して使っている場合
- このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合
- 周囲で2.4GHz帯(2.4～2.4835GHz)を使用する機器(無線LAN、Bluetooth®(ブルートゥース)テクノロジー対応機器、電子レンジなど)を使用している場合
- 携帯電話やコードレス電話などで話し中の場合

Q マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などでふき取ってください

A キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

重要

- **ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。**
- **パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。**

Q キーボードバッテリインジケータ、マウスバッテリインジケータが赤く点滅する

A キーボード、マウスの電池が少なくなっています。新しい電池に交換してください。
ニッケル水素充電池をご使用の場合は、充電してください。

電源／バッテリのトラブルがおきたとき

Q 電源スイッチを押しても電源が入らない

バッテリは十分充電されていますか？

A ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

正しい操作方法で、電源を入れていますか？

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外します。
そのまま90秒以上放置してください。
その後、バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおしてください。

Q 電源が切れない。強制的に電源を切りたい

「Windowsを強制的に終了する」(p.41)をご覧ください。

Q パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93160010 で検索)をご覧ください。
この場合は、電源が切れたわけではありません。

Q 電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された

CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされていませんか?

A CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

Q バッテリの駆動時間が短くなった。フル充電できない

次の手順で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使ってバッテリリフレッシュをおこなってください

1 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック

「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。

3 「次へ」をクリック

4 「開始」をクリック

5 「はい」をクリック

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 診断結果を確認する

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリパックの交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリパックを交換してください。

重要

- バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
- バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
- バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

参考

- お使いの機種で使用できるバッテリパックについて確認するには、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス＆サポート」(http://121ware.com/support/)で、右側のメニューの「商品情報検索」をクリックしてください。お使いの機種を検索後、型番をクリックし、左側のメニューから「自社商品接続情報」をクリックすると、バッテリパックなどの型番が確認できます。
- バッテリパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/)にお問い合わせください。

参照

使用済みバッテリパックのリサイクルについて
→「バッテリパックのリサイクルについて」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150050 で検索

Q BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS（バイオス）セットアップユーティリティで、BIOSの設定を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。
なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。

! 重要

BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら何度か【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。
BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合や「NEC」のロゴ画面が表示されない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。

3 【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

Q 省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（スリープ状態／休止状態）に対応していますか？

A 対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

A スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容が消えてしまう場合があります。

休止状態の間に、周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

A 休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

A CD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、CD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

A ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

参照

ハイブリッドスリープの設定について
→「省電力機能について」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・省電力状態にした
・電源を切った
このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してからパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。
・プリンタへ出力中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・SSDを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows 7で発生した問題も含まれています。Windows 7の開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

Q シャットダウン時にエラーメッセージが表示される

多くの場合、シャットダウン前に操作していたソフトの終了が、システムのシャットダウンより時間がかかっているときにおこります。メッセージが出るがすぐに消えて、シャットダウンが正常に終わる（その後、パソコンが正しく起動できる）場合は、特に問題ありません。
シャットダウンができない（エラーメッセージが表示されたままになる）場合は、「Windowsを強制的に終了する」（p.41）の手順で電源を切ってください。

使用中に画面に何も表示されなくなったとき

Q ディスプレイ(画面)に何も表示されない

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、液晶ディスプレイ(タッチパネル)に触れてみてください

A 画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。
ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。

パソコン本体の電源スイッチを押してください

A 画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。

参照
省電力機能について
→「省電力機能について」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

省電力状態にしていましたか？

A 省電力状態から正常に復帰できないときは、「省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.47)をご覧ください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか？

「ディスプレイ･画面の表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか？

A 外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、電源ランプが点灯していても、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【】＋【P】を押して画面の出力先を変更してください。詳しくは、「画面を表示するディスプレイを切り換える」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180110 で検索)をご覧ください。
いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます。
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

Q Windows Media Centerを使用していると、動かなくなってしまう。動作が遅い

Windows Media Center画面の下に、ほかのソフトの画面が表示されていませんか？

A ほかのソフトの画面が「Windows Media Center」画面の下に重なっている可能性があります。「Windows Media Center」右上の(最小化ボタン)をクリックして、ほかのソフトの画面が表示されていないか確認します。ソフトの画面やメッセージが表示されていた場合は、内容をよく読んで操作してください。

メッセージが表示されたとき

Q 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。

ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。

「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき

Q パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

【Caps Lock】や【Num Lock】の状態を確認してください

A パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。【Caps Lock】や【Num Lock】の状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できない場合があります。これらのキーをパスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

参照

【Caps Lock】、【Num Lock】について
→「キーの使い方」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93050040 で検索

Q パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

A 一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。
どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。
または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウントの管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

参照

- **ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
- **「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。**

これらの方法で解決できない場合は、パソコンの再セットアップが必要になります。

再セットアップについて→「第3章 再セットアップ」(p.23)

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

A BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

ハードディスク(SSD)のパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスク(SSD)のパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスク(SSD)を有償で交換することになります。
ハードディスク(SSD)のパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

ウイルスの感染が疑われるとき

「ウイルスバスター」をご使用の場合

「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLAN機能はオフにしない)状態でウイルスの駆除をおこなってください。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合

インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。

重要

パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX:　03-5978-7518
E-mail:　virus@ipa.go.jp
URL:　http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL:　03-5978-7509

その他のトラブルがおきたとき

Q DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか?

A DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

マルチステーションにACアダプタが接続されていますか?

A ディスクトレイは、マルチステーションにACアダプタが接続されているときのみ、出すことができます。マルチステーションにACアダプタを接続してからディスクを取り出してください。

画面の操作で取り出しをしてみてください

A 「スタート」-「コンピューター」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください

A アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。

参照

アクセスランプについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

A パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。

Q パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。
電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にご相談ください。

Q Windows 7再セットアップ画面が表示できない

操作前の準備はできていますか？

A 再セットアップの操作をするときは、あらかじめ必要な周辺機器を取り付け、BIOS（バイオス）の設定を変更する必要があります。詳しくは「操作の前に」（p.24）をご覧ください。

【F11】を押すタイミングは合っていますか？

A パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」と表示されるまで何度か【F11】を押し続けてください。

「コントロールパネル」から起動してください

A 次の手順で起動することができます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリック

2 「バックアップと復元」-「システム設定またはコンピューターの回復」-「高度な回復方法」をクリック

3 「コンピューターを出荷時の状態に戻す」をクリック

4 「スキップ」をクリック

5 「再起動」をクリック

再セットアップディスクを使って再セットアップしてください

A 再セットアップディスクを使った再セットアップ方法は、第3章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」（p.37）をご覧ください。
再セットアップディスクは作成する必要があります（p.34）。

Q マルチステーションの機能（USB端子、DVD/CDドライブ、充電）が使えない

マルチステーションにACアダプタが接続されていますか？

A ACアダプタが接続されていないと、マルチステーションの機能が使用できません。ACアダプタを接続してください。

ピークシフト機能の動作中ではありませんか？

A ピークシフト機能が動作しているときは、ACアダプタから電力が供給されないため、マルチステーションの機能が使用できません。マルチステーションの機能を使用するときは、必要に応じてピークシフト機能を停止してください。

索　引

数字

アルファベット

B

C

D

F

W

かな

あ

か

さ

た

は

ま

初版 2011年10月
NEC
853-811064-131-A

LaVie Touch
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）